

ライフステージごとの持ち物を徹底調査！ 子育て経験世帯の 8 割が求める「外部収納」設置のポイントとは？

積水ハウス株式会社は、暮らしを豊かにする収納計画の提案につなげるため、「外部収納調査」を行いました。本調査は、積水ハウスが暮らしにおける「幸せ」のさらなる追求のために行っている「住めば住むほど幸せ住まい」研究の一環として実施したものです。子育て期は家族構成やライフスタイルが大きく変化し、収納ニーズも多様化・複雑化するため、あると便利な「外部収納」に着目しました。本調査では、庭がある戸建住宅（持家）にお住まいで、現在子育て中またはすでに子どもは独立しているが以前は子育てをしていた人を対象としています。外部収納のほか、庭などの屋外で利用する持ち物について、実態・ニーズなどの調査結果を発表するとともに、豊かな暮らしにつながる庭の活用のヒントも紹介します。

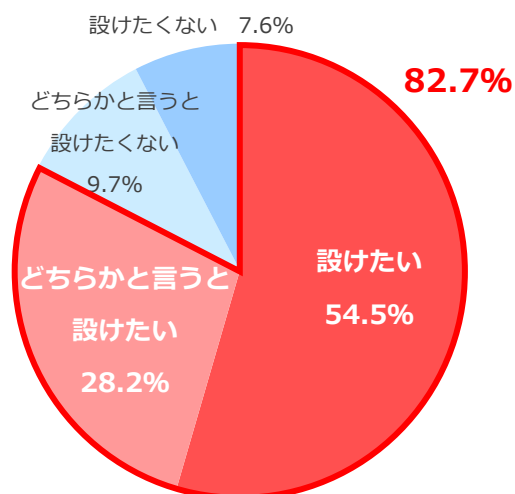
～調査サマリー～

- ✓ 庭など屋外に設ける物置の設置希望者は全体の 80%超。
- ✓ 子どもが独立後は家庭菜園やガーデニングに関する物を所有している人が半数以上に。
- ✓ 庭で過ごす楽しむ種類が豊富なほど、庭への価値観が高まる傾向。

外で使う物をすっきり片づけるために、欲しい外部収納

はじめに、「外部収納」の代表格といえる庭など屋外に設ける物置について、ライフステージを問わず設置意向を聞いたところ、庭など屋外に設ける物置の設置希望者は全体の 80%超であることがわかりました。外で使用する物や汚れのつきやすい物を居住スペースに持ち込まないで済むよう、家の外で収納が完結する物置を設置したいと思っている人が多いことがわかりました。

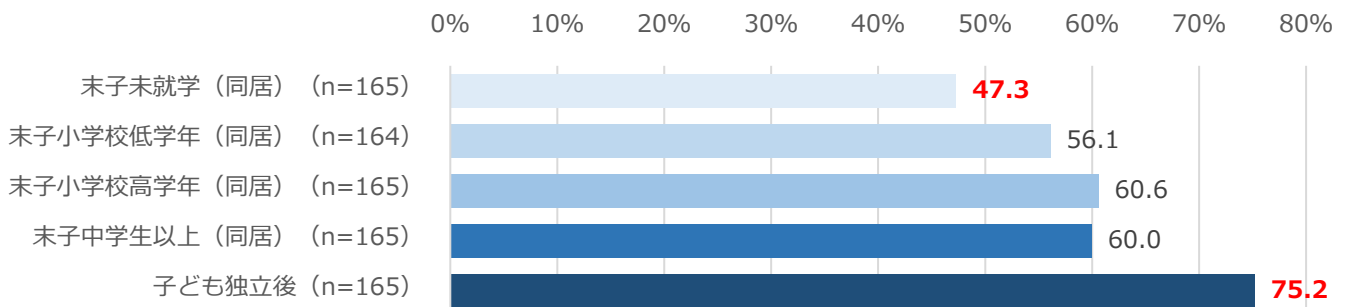
Q 子育て経験世帯（子育て期・独立後）における外部収納（物置）の設置意向（n=824）



積水ハウス 総合住宅研究所調べ「外部収納調査（2024 年）」

実際の設置割合を見てみると、ライフステージが上がるごとに増加していきます。ライフステージが変わると、持ち物が多様化していくのではないかと推測できます。

Q ライフステージごとの現在の物置の設置割合 (n=824)



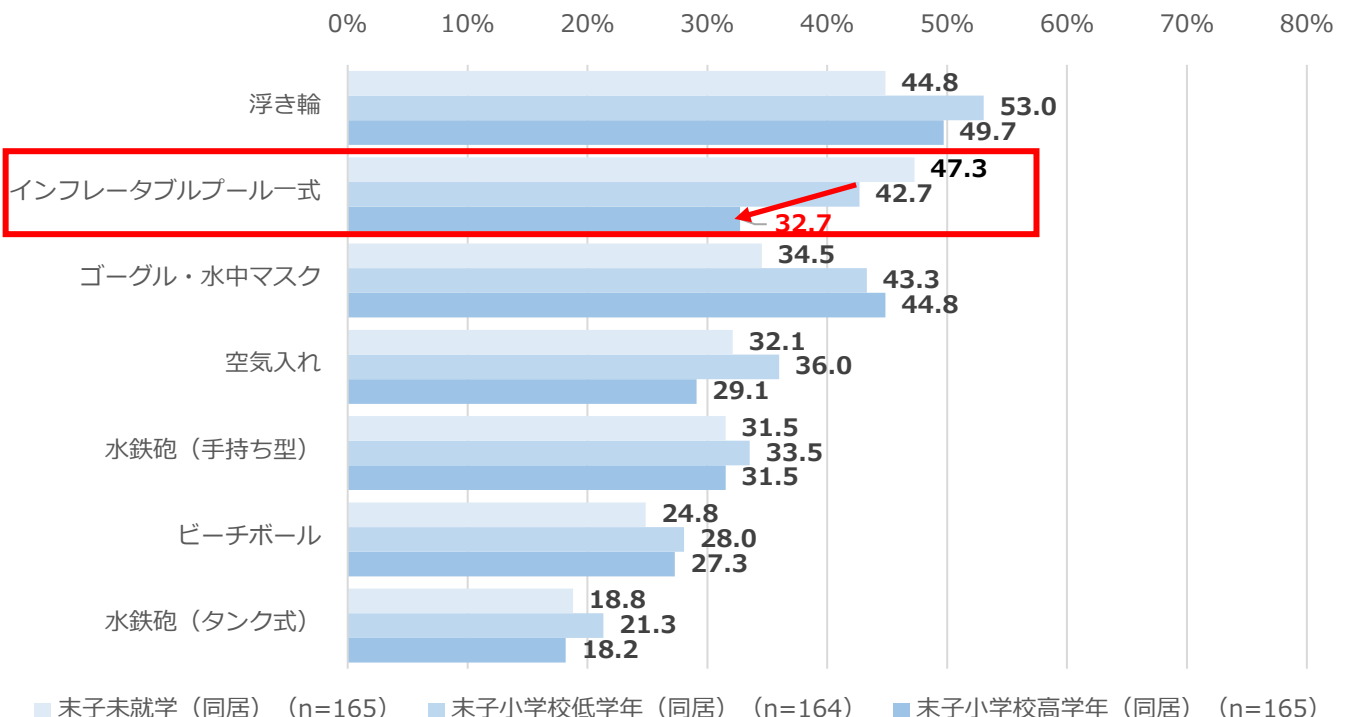
積水ハウス 総合住宅研究所調べ「外部収納調査 (2024 年)」

ライフステージと持ち物の関係性

続いて、物置の設置ニーズと持ち物の関係性を調べるために、ライフステージと持ち物について、5つのテーマに分けて調査しました。

まず、水遊び・プールなどに関する物の所有状況については、未子が未就学・小学生の世帯では、「浮き輪」「インフレータープール (空気膨らませるタイプ) 一式」「ゴーグル・水中マスク」「空気入れ」「水鉄砲 (手持ち型)」が上位5位となりました。「浮き輪」や「インフレータープール一式」などかさばる物も、子どもが小さいと半数近い世帯が所有していることがわかりました。また、「インフレータープール一式」の結果から、未子が未就学・小学校低学年までは家でプール遊びをしている一方で、高学年からは減少する傾向にあることが読み取れます。

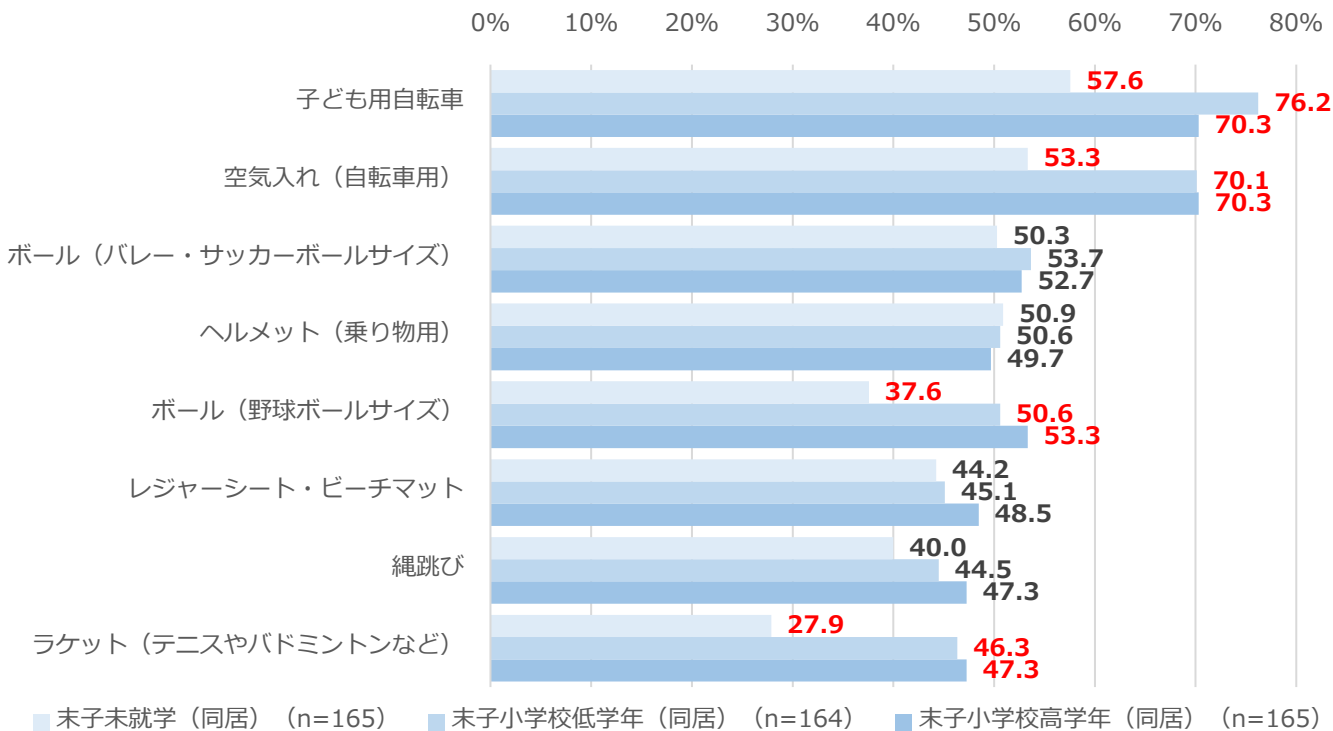
Q 【水遊び・プール編】未子が未就学から小学校高学年の世帯の持ち物 (上位抜粋、複数回答)



積水ハウス 総合住宅研究所調べ「外部収納調査 (2024 年)」

つぎに、外遊びやスポーツに関する物の所有状況も小さな子どもがいる世帯が持っている割合が高く、その中でも「子ども用自転車」「空気入れ（自転車用）」「ボール（バレー・サッカーボールサイズ）」「ヘルメット（乗り物用）」「ボール（野球ボールサイズ）」が上位5位となりました。また、「子ども用自転車」、「空気入れ（自転車用）」や「ボール（野球ボールサイズ）」、「ラケット」は、末子未就学に比べて小学生は10ポイント以上高くなり、外遊びやスポーツの幅が広がっていることがうかがえます。

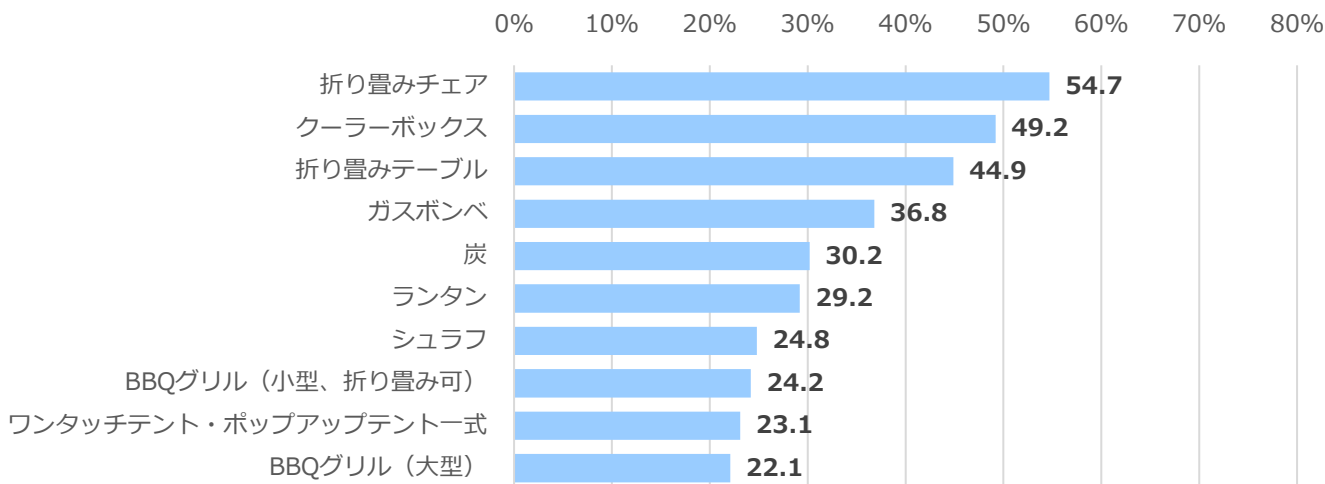
Q【外遊び・スポーツ編】末子が未就学から小学校高学年の世帯の持ち物（上位抜粋、複数回答）



積水ハウス 総合住宅研究所調べ「外部収納調査 (2024年)」

アウトドアに関してはライフステージごとの持ち物の差はなく、全体では「折り畳みチェア」「クーラーボックス」「折り畳みテーブル」「ガスボンベ」「炭」が上位5位となりました。アウトドアに関する持ち物は、ライフステージを問わず一定数の家庭が所有しており、かさばりやすいアイテムが上位となりました。

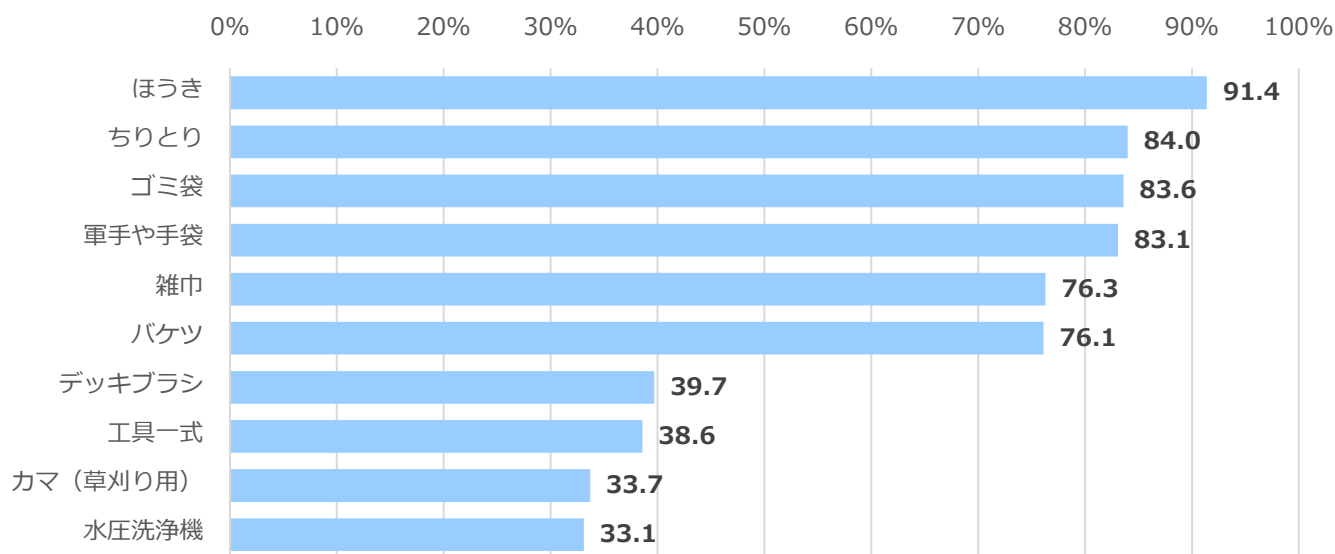
Q【アウトドア編】「子育て経験世帯 (子育て期・独立後) 全体における持ち物 (上位抜粋、複数回答/n=824)



積水ハウス 総合住宅研究所調べ「外部収納調査 (2024年)」

掃除・メンテナンスに関する物の所有状況については、「ほうき」「ちりとり」「ゴミ袋」「軍手や手袋」「雑巾」が上位5位となりました。どのライフステージにおいても、日常的な掃除に必要な基本的な用品を備えている様子が見えます。

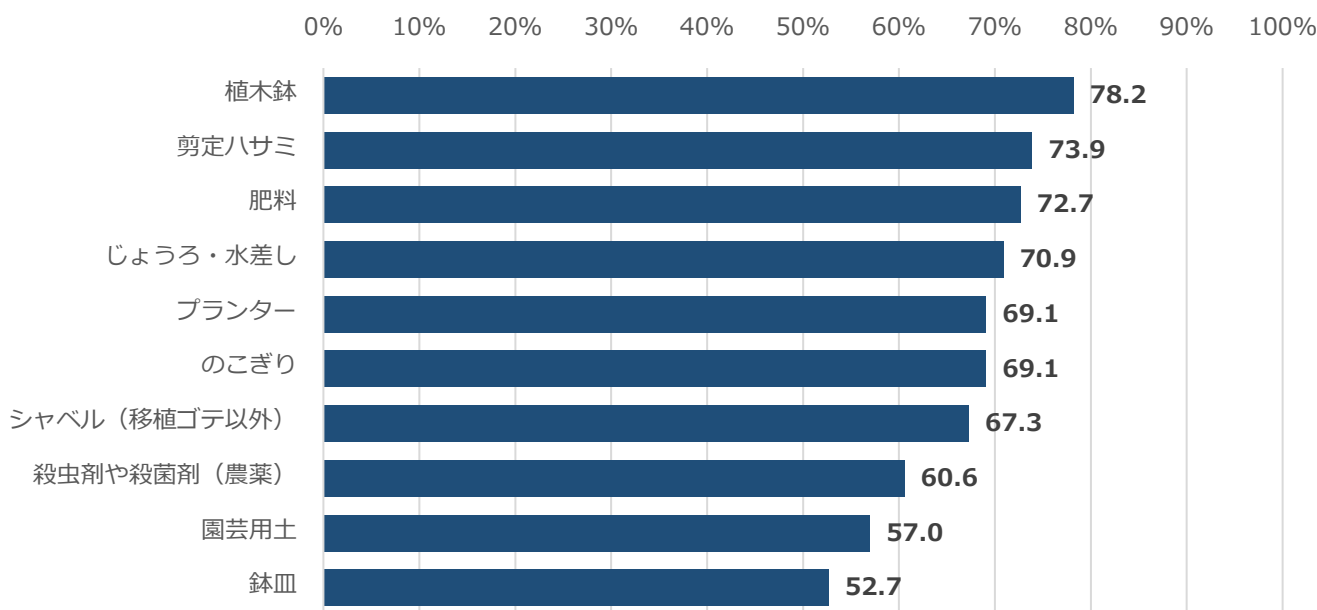
Q【掃除・メンテナンス編】子育て経験世帯（子育て期・独立後）における持ち物（上位抜粋、複数回答／n=824）



積水ハウス 総合住宅研究所調べ「外部収納調査（2024年）」

さらに、家庭菜園やガーデニングに関する持ち物についても調査しました。子どもが独立した世帯では、家庭菜園やガーデニングに用いる基本的なアイテムの所有率が高く、上位に挙げたアイテムはいずれも半数以上が所有していることがわかりました。

Q【家庭菜園・ガーデニング編】子ども独立後の持ち物（上位抜粋、複数回答／n=165）



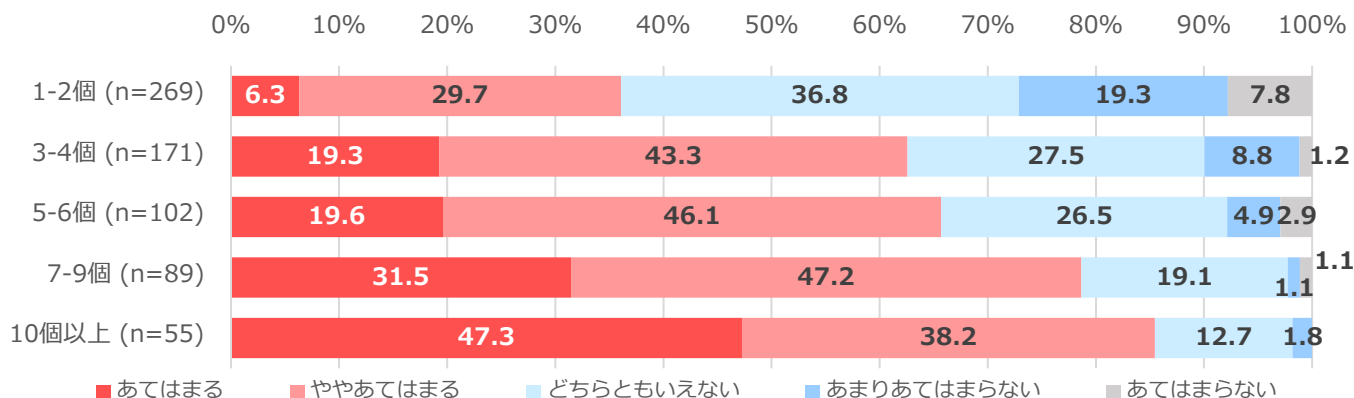
積水ハウス 総合住宅研究所調べ「外部収納調査（2024年）」

庭に対する価値観

ここまで、5つのテーマに分けてライフステージと持ち物の関係性を調査した結果、ライフステージに合わせた持ち物の傾向が見られ、外や庭での楽しみ方が変化していくことが読み取れました。最後に、庭に対してどのような価値観を持っているかについても調査したところ、「ガーデニング」「お茶をする」「くつろぐ」「バーベキューをする」「DIY・日曜大作業」など、庭で過ごす楽しむ種類が豊富なほど、庭で過ごす時間が大切だと感じる、つまり庭への価値観が高まる傾向にあることがわかりました。家族やライフステージの変化に合わせて様々な庭の楽しみ方ができるよう、将来を見据えた外部収納計画を考える必要があると言えます。

Q 庭で過ごす楽しむ種類*の数別の庭に対する価値観（庭の価値観：庭で過ごす時間は大切だと感じている）

*「ガーデニング」「お茶をする」「くつろぐ」「バーベキューをする」「DIY・日曜大作業」など



積水ハウス 総合住宅研究所調べ「外部収納調査（2024年）」

● “ソト・ナカの有効活用で実現する豊かな暮らし方ヒント”のご提案

今回の調査では、外で使う物について、ライフステージごとで持ち物に傾向があることがわかりました。特に、子育て期は「外遊び・スポーツ」に関する物、子ども独立後は「家庭菜園・ガーデニング」に関する物が多いことがわかりました。

また、庭を楽しむ行為と庭に対する価値観の関係性も明らかになりました。

積水ハウスでは、適材適所に物をしまうための収納計画はもちろん、より豊かな暮らしが実現できるよう、庭を含めた生活提案を行っています。そこで今回は、多様な外部収納計画と庭の活用方法につながる Tips をご紹介します。

1) 外部収納計画

家の外に収納したい物は意外と多いもの。何をどこで使うかを考えて外部収納の量と場所を考えましょう。

主に外部で使う物を収納するスペースとして、庭など屋外に設置する物置のほかに、屋外から直接アクセスできる建物本体に設けた収納、ビルトインガレージ内の収納、玄関土間収納を広めにとるなどがあります。

ライフスタイルや各アイテムに合った保管状況を考慮してスペースを考えるとよいでしょう。

また、折りたたんだり重ねて収納できるものは、使わないときに場所をとらず、家の中に入れるときにも便利なので、アイテム購入の時も工夫したいものですね。



2) 水遊び、外遊びグッズで玄関を散らかさない

子どものいる家庭では、水遊びグッズや外遊びグッズの所有率が高いという調査結果が出ています。思い返すと、夏休みの玄関は水鉄砲や虫取り道具、砂のついた靴で散らかりがちだった、というご家庭も多いのではないのでしょうか。

この悩みは夏だけのものではありません。公園遊びや自然体験など、外遊びが続く限り、玄関は季節を問わずモノが集まりやすい場所です。外に置ける収納ボックスと、動線の良い場所に設けた屋外水栓があれば、汚れた道具や靴を家に持ち込まずに洗って収納できます。

夏の玄関の記憶をヒントに、玄関が散らからない・汚れない工夫で、外遊びをもっと気持ちよく楽しめる暮らしを整えてみてはいかがでしょうか。

3) 庭を「過ごす場所」として計画

庭の自然を眺めるだけでも癒されますが、庭で食事をしたい、子どもの遊び場にしたい、人をもてなす場所にしたい、家族の成長に応じた過ごし方をしたい…など、どのように過ごしたいかをじっくり考えると、庭で使用する物、今後必要になってくる物が見えてきます。意外と多いと思いませんか。

庭でどう過ごすかをイメージしてみると、外で使った物や土や水がついた物をどこにしまっておくか、収納計画も事前に考えておけるでしょう。



4) 庭で「プチカフェ」

今回の調査でも、庭でバーベキューをしたりお茶やお酒を飲んだり、飲食を楽しんでいる方が多くみられました。庭のデッキやテラスにお気に入りのカウチやチェアを置いて「プチカフェ」を設けると、木漏れ日のなか、季節の風を感じながらティータイムを、夕暮れには家飲みを楽しむなど、おうちいながら格別の時間が過ごせます。フェンスや植栽で周囲の視線を上手にカットすると、自然とのつながりは維持しながら心からくつろげる庭になるでしょう。

さらに今後おうちの庭を計画される方は、過ごし方に応じて、ガーデンシンクなどの給水や、調理機器の使用や DIY でも活用できる屋外コンセント、夜の時間も豊かに過ごすための照明計画などを考えてみると良いでしょう。



住生活研究をはじめとする住まいの専門家 河崎由美子メッセージ

今回の調査では、ライフステージに応じて庭での楽しみ方が変化することがわかりました。特に、戸建てへの居住経験の少ない家族では、住み始めてから初めて庭で家庭菜園やバーベキューを楽しむなど、庭の魅力に気づくもの。そして、庭での暮らしの拡がりとともに庭道具が増えていきます。対策として、外部収納の設置されるケースが良く見られますが、道具には、スコップや高枝切はさみ、ホース、高圧洗浄機など、長くてかさばるものが多くありますので、高さのある収納を選ぶとよいでしょう。他にも、外部収納には、災害時に備える防災用品も保管できます。飲料水、ポリタンク、カセットコンロ、バケツなど、BBQ 用品を兼ねる防災グッズなども一緒に保管しておく、安心です。庭の楽しみと防災対策の両面で、外部収納の価値はますます高まっているといえるでしょう。

積水ハウス株式会社 フェロー 河崎由美子

1987 年入社。高校入学までの 12 年間で海外で過ごした経験や子育て経験などを生かし、総合住宅研究所でキッズデザイン、ペット共生、収納、食空間など、日々の生活に密着した分野の研究開発全般に携わる。

執行役員、住生活研究所長を経て 2023 年 4 月より現職。一級建築士。

<「外部収納についての調査（2024年）」調査概要>

- 調査実施：積水ハウス 総合住宅研究所
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：・居住地：全国
 - ・庭あり持家戸建住宅
 - ・子育てファミリー（子どもがいる／いたことがある）
- 回答者数：824件（ライフステージ5形態で割付）
- 実施期間：2024年12月23日（月）～2024年12月24日（火）

<記事などでのご利用にあたって>

・引用元が「積水ハウス株式会社 総合住宅研究所」による調査である旨と、引用元調査「外部収納調査（2024年）」の記載をお願いします。

・積水ハウス ウェブサイトの該当記事

(<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/research/20251225/>) へのリンク追加をお願いします。

<積水ハウスの住生活研究について>

住めば住むほど幸せ住まい

人・暮らしの視点で、ライフステージ・ライフスタイル、そしてこれからの住まいのあり方の調査・研究を行っています。今後迎える「人生100年時代」には、暮らしにおける「幸せ」のさらなる追求が重要と考え、時間軸を意識した「住めば住むほど幸せ住まい」研究に取り組んでいます。研究を通して、幸せという無形価値、つまり「つながり」「健康」「生きがい」「私らしさ」「楽しさ」「役立ち」といった幸福感を高め、家族やライフスタイルの多様な変化に対応する幸せのかたちをお客さまへご提案することを目指しています。

ウェブサイト：<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/rd/humanlife/>

これまでの調査リリース：<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/research/>